

都市再生整備計画 事後評価シート

伊丹市中心市街地地区

平成24年2月

兵庫県伊丹市

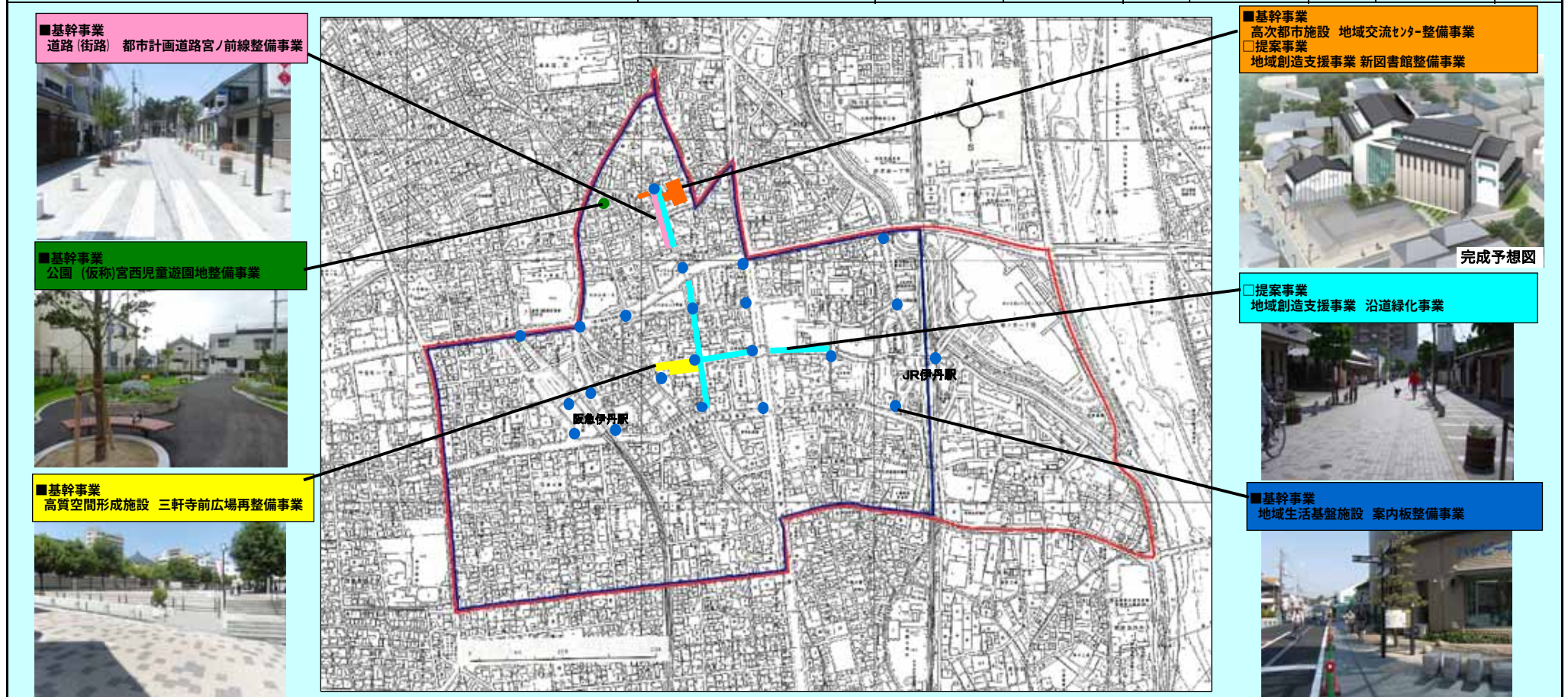
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県		市町村名	伊丹市		地区名	伊丹市中心市街地地区			面積	9.4 ha		
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	2,320百万円		国費率	40.30%			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(街路 都市計画道路宮ノ前線)、地域生活基盤施設(情報板)、高質空間形成施設(三軒寺前広場再整備)										
		提案事業	地域創造支援事業(沿道緑化)										
		事業名					削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-			-		-					
		提案事業	-			-		-					
	新たに追加した事業	基幹事業	公園((仮称)宮西児童遊園地)、高次都市施設(地域交流センター)			個性ある中心市街地の形成と地区内の賑わい空間を創出するため、公園及び、地域交流センターと新図書館の複合施設の整備事業を追加した。		地域交流センター、新図書館の複合施設の整備により、指標1、指標2の数値目標を上方修正し、新たな目標を定量化する指標を追加した。					
		提案事業	地域創造支援事業(新図書館)			個性ある中心市街地の形成と地区内の賑わい空間を創出するため、地域交流センターと新図書館の複合施設の整備事業を追加した。		地域交流センター、新図書館の複合施設の整備により、指標1、指標2の数値目標を上方修正し、新たな目標を定量化する指標を追加した。					
	交付期間の変更	当初	平成19年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	事業期間を延伸したため、指標1、指標2の数値目標を上方修正した。							
		変更	平成19年度～平成23年度										
	2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)
指標1		屋外イベント数	イベント数/年間	9	H17	12	H23	モニタリング	評価値	○	ありなし	三軒寺前広場の再整備等により、目標値を上回る屋外イベントが開催され、地区内の賑わい空間の創出につながった。	平成25年4月
指標2		歩行者・自転車通行者数	人/10時間	6,845	H17	8,500	H23		9,230	○	ありなし	三軒寺前広場でのイベント開催等により来街者が増加し、通行量が目標値を上回り、また、都市計画道路宮ノ前線の整備、案内板の設置等により、地区内での回遊性が高まった。	平成24年10月
指標3		地域交流センター・新図書館の利用者数	人/年間	0	H21	468,000	H23		477,616	○	ありなし	地域交流センター、新図書館の複合施設利用者数の評価値は、周辺施設利用者、現図書館利用者を参考にした推計値ではあるが、目標値を上回っているため、地区内のにぎわいと活性化に寄与することが期待できる。	平成25年8月
指標4										ありなし			
指標5										ありなし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	-						モニタリング	評価値				
	その他の数値指標2	-											
	その他の数値指標3	-											
4) 定性的な効果発現状況	・本計画による事業実施や平成20年7月の伊丹市中心市街地活性化基本計画の内閣総理大臣認定などを契機に、市民、中心市街地活性化協議会、NPO法人いたみタウンセンター等が中心となり、様々な魅力あるイベントが開催されている。 ・都市計画道路宮ノ前線、案内サインの整備等により、歩行者、自転車が快適に回遊できる歩行者空間が創造され、安全性と利便性が向上した。												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた						●	地元自治会が、引き続き、公園の維持管理などを行うことにより、住民が主体となったまちづくりを推進する。
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス①		公園((仮称)宮西児童遊園地)の整備に先立ち、整備内容等を協議			都市再生整備計画に記載し、実施できた						●	地域交流センター、新図書館の複合施設を活用し、まちなか交流機能の強化と地区内の活性化を推進する。
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス②		地域交流センター、新図書館の整備に先立ち、市民意見交換会を開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた						●	地域交流センター、新図書館の複合施設を活用し、まちなか交流機能の強化と地区内の活性化を推進する。
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載し、実施できた								
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

伊丹市中心市街地地区（兵庫県伊丹市）まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：JR伊丹駅周辺から阪急伊丹駅周辺にかけての本市の中心市街地において、歴史・文化の活用と賑わいの創出により、本市の都市ブランド（街の顔）の創造を目指す	屋外イベント数	単位：イベント数/年間	9	H17	12	H23	18	H23
目標1 ○歴史・文化的資源を活用した「伊丹郷町」の個性ある中心市街地の形成	歩行者・自転車通行量（平日）	単位：人/10時間	6,845	H17	8,500	H23	9,230	H23
目標2 ○市民や来訪者が安全で快適に回遊できる歩行者空間の創出	地域交流センター・新図書館の利用者数	単位：人/年間	0	H21	468,000	H23	477,616	H23



まちの課題の変化	- 三軒寺前広場の再整備等により、既存のイベントに加え、伊丹固有の歴史・文化を活用した屋外イベントが増加し、にぎわい空間を創出した。 - 景観計画に基づき、色彩、形態に重点を置いた景観の誘導を行うとともに、歩行者優先道路の沿道緑化事業、周辺との調和に配慮した案内サインの設置等により、落ち着いたある市街地景観を創出した。 - 中心市街地の活性化を目的とした商業店舗の建設や出店事業者の誘致を促進する制度の活用により、店舗誘致を進めた。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	- 中心市街地活性化協議会、市民団体などが主体となり、伊丹らしいオリジナリティのある魅力的なイベントを開催し、伊丹のまちを楽しみ、うるおい、憩うことにより、伊丹のまちに誇りや愛着が持てるまちづくりを推進する。 - 新たに整備された新図書館、地域交流センターの複合施設は、「ことば文化都市伊丹」の核となる施設として、誰もが利用しやすい図書館機能、人と人が語り合い、学べる交流機能の充実を図り、集客性を向上させる。 「伊丹市中心市街地活性化基本計画」に位置付けられている事業を着実に実施し、個性とにぎわいのあるまちづくりを推進する。 - 地域の特性に応じた景観形成を推進するため、引き続き、市民、事業者等とともに良好な景観形成に努める。